

第37回： 次世紀に向けた水処理技術への取り組み

開催日： 1999年11月4日（木）～5日（金） / 会場： 「自動車会館」東京都

開催趣旨： 水環境をめぐる問題が多様化してきているなかで、水処理技術についても、高度処理をはじめとしてより安全な水の追求や、資源化・リサイクル、省エネなど環境への負荷の積極的な低減をめざした新しい取り組みが始まっています。

今回のセミナーでは、各分野の次世紀に向けた水処理技術の取り組みを解説していただき、今後の水処理技術のあり方のヒントを得ることを目的に企画しました。多数の皆様のご参加をお待ちしております。

講演タイトル（講師／所属（当時））：

- 高効率浄水技術開発研究（ACT21）への取り組み（蒲谷秀彦／（財）水道技術研究センター）
- 地下水汚染対策技術の現状と課題（平田健正／和歌山大学システム工学部）
- 小規模生活排水の高度処理への取り組み（稲森悠平／国立環境研究所地域環境研究グループ）
- 下水の新高度処理への取り組み（津野洋／京都大学工学研究科環境質制御研究センター）
- 嫌気性廃水処理技術の今後の展望（原田秀樹／長岡技術科学大学環境システム工学系）
- 高度酸化処理技術（AOP）の現状と今後の展望（藤江幸一／豊橋技術科学大学エコロジー工学系）
- 下水と汚泥からの資源生産への取り組み（藤田正憲／大阪大学大学院工学研究科）
- し尿・汚泥・生ごみ等の地域総合リサイクル処理システムへの取り組み（井上雄三／国立公衆衛生院廃棄物工学部）